

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成28年3月3日 (2016.3.3)

【公開番号】特開2014-153495(P2014-153495A)

【公開日】平成26年8月25日 (2014.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2014-045

【出願番号】特願2013-22152(P2013-22152)

【国際特許分類】

G 0 2 F 1/1337 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

G 0 2 F 1/1343 (2006.01)

G 0 2 F 1/13 (2006.01)

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 F 1/1337 5 0 5

G 0 2 F 1/1335 5 0 0

G 0 2 F 1/1343

G 0 2 F 1/13 5 0 5

G 0 9 F 9/00 3 1 3

G 0 9 F 9/30 3 9 0 C

G 0 9 F 9/30 3 4 9 C

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月13日 (2016.1.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 8 9 】

なお、実施の形態 4 に係る T F T 基板 4 の製造方法は、対向電極 1 6 1 に設けるスリットのパターンの違いを除けば、実施の形態 1 と同様でよい。但し、T F T 基板 4 の表面に設ける配向膜に対しては、第 1 領域と第 2 領域とで異なる方向の液晶配向処理を行う必要がある。例えば、配向膜の液晶配向処理としてラビング処理を行う場合は、領域ごとにマスクを設けることで選択的なラビング処理を行うマスクラビング法を用いることができる。また、ラビング方以外の光配向法などを用いる場合も同様に、マスクを用いた選択的な方法をとることが可能である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 9 0 】

< 実施の形態 5 >

図 1 4 および図 1 5 は、実施の形態 5 に係るマルチブルー液晶表示装置の画素の構成を示す図である。図 1 4 は当該画素の平面図であり、図 1 5 は図 1 4 に示す C - C 線に沿った断面図である。図 1 4 においては、液晶 5 および対向基板 6 の図示は省略しているため、T F T 基板 4 における画素部分の平面構造が示されている。一方、図 1 5 では、T

F T基板 4 だけでなく、液晶 5 および対向基板 6 も示している。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0095

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0095】

あるいは、先に絶縁膜 19 a を第 2 領域のみに残るようにパターニングし、パターニングされた絶縁膜 19 a を覆うように、絶縁膜 19 b を画素領域の全域（第 1 領域と第 2 領域の双方）に形成しても、第 1 領域よりも第 2 領域で厚い層間絶縁膜 19 を形成することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】

